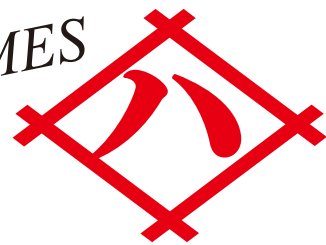


# HAGIWARA

TIMES



“ありがとう”を未来へつなぐ



Vol. 12  
2018.

# 5

100年の歩み



“ありがとう”を未来へつなぐ  
100<sup>th</sup>  
Anniversary

# 萩原建設工業100年の歩み

Vol.12 2018.5

大正

昭和

平成



<p>大正7年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 初代・延一が帯広市西1条南9丁目4にて萩原組を創業</li> </ul>	<p>昭和10年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 砂利採取船「さか丸」建造</li> </ul>	<p>昭和17年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 佐々木組を吸収合併</li> </ul>	<p>昭和20年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 帯広市西1条南9丁目に木造平屋建の新社屋を建築</li> </ul>	<p>昭和24年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 現在の萩原建設工業株式会社に商号変更</li> </ul>	<p>昭和28年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 札幌営業所を開設</li> </ul>	<p>昭和32年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 災害が発生した3月31日を自社の「防災記念日」と定める</li> <li>■ 帯広土現の札内川砂防工事現場で雪崩発生、18人が死亡</li> </ul>	<p>昭和36年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 帯広市西1条南6丁目に木造二階建の新社屋を建築</li> </ul>	<p>昭和43年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 函館出張所・厚岸営業所を開設</li> <li>■ 萩原延一逝去、萩原一男が二代目社長に就任</li> </ul>	<p>昭和46年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 昭和40年から続いた銀行管理が解ける</li> </ul>	<p>昭和56年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 一級建築士事務所開設</li> <li>■ 新社屋落成祝賀会開催</li> </ul>	<p>昭和60年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 宅地建物取引業者登録</li> </ul>	<p>昭和62年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 東京営業所開設</li> </ul>	<p>平成元年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 萩原一男が北海道建設業協会副会長に就任</li> <li>■ 建築大臣許可登録 大臣許可業者に変更</li> </ul>	<p>平成11年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ISO9001認証取得</li> </ul>	<p>平成15年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 萩原一男逝去</li> <li>■ 萩原一利が三代目社長に就任</li> </ul>	<p>平成16年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 建設業労働安全衛生マネジメントシステムCOHSMS認証取得</li> </ul>	<p>平成18年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 環境マネジメントシステムISO14001認証取得</li> </ul>	<p>平成22年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 萩原一利が北海道建設業協会副会長、帯広建設業協会会長に就任</li> </ul>	<p>平成23年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 東日本大震災被災地へ帯広建協や帯広市とタイアップし支援物資を届ける</li> </ul>	<p>平成27年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ クロークレーン搭載台船「栄号」が進水</li> </ul>	<p>平成28年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 台風災害に対応、清水町や新得町にて復旧応援等、会社丸となって取り組む</li> </ul>	<p>平成29年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 十勝管内市町村で台風復興支援コンサート開催</li> </ul>
---	---	--	--	---	---	--	--	---	---	---	---	--	---	--	--	--	---	--	--	---	---	--



創業者 萩原 延一

- 生年月日 : 明治28年5月1日
- 代表取締役歴 : 昭和23年5月～昭和43年3月
- 帯広建設業協会会長歴 : 昭和29年～昭和42年



二代目社長 萩原 一男

- 生年月日 : 大正11年8月22日
- 代表取締役歴 : 昭和43年4月～平成15年8月
- 帯広建設業協会会長歴 : 昭和53年～平成15年



三代目社長 萩原 一利

- 生年月日 : 昭和26年3月8日
- 代表取締役歴 : 平成15年8月～
- 帯広建設業協会会長歴 : 平成15年～

## 記念事業内容

- ・記念コンサートの開催 <平成30年4月14日 旧双葉幼稚園/7月12日 帯広文化ホール/7月14日 帯広百年記念ホール>
- ・作業服・制服の刷新
- ・ロケット開発への出資 <IST(インターステラテクノロジズ)>
- ・TOKACHI ALIVE <平成30年8月25日 北愛国交流広場>
- ・記念祝賀会・記念式典の開催
- ・B.LEAGUE <平成29年10月29日/平成30年10月>
- ・記念誌の発行



記念コンサートの開催



TOKACHI ALIVE



B.LEAGUE

この度、萩原建設工業株式会社は本年5月1日をもちまして創業100周年を迎えることとなりました。これもひとえに地域の皆様方のご支援の賜物と深く感謝しております。つきましては100周年事業として7月12日と14日にクラシックコンサート、さらに8月25日に『TOKACHI ALIVE』という夏フェスの開催が決定しております。地域の皆様方にも広く楽しんでいただけるイベントとなっておりますので、是非とも御参加いただけますと幸いです。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

萩原建設工業100周年事業実行委員長 萩原 一宏

## 代表取締役挨拶

弊社は、1918年(大正7年5月1日)の創業以来、総合建設業として経営を続けて100年を迎えることができました。地域に生まれ、皆様の多大なるご支援を頂戴しこの大きな節目を迎えられましたことを深く感謝しております。これまでの100年を教訓としつつ、未来に向けた新しい価値を創造し、地域の皆様のご要望にお応えすべく努力してまいり所存でございますので、今後ともご支援の程宜しくお願い申し上げます。

代表取締役社長 萩原一利



2018年4月14日、ロケット開発への出資に次ぐ創業100周年記念事業第2弾として旧双葉幼稚園での記念コンサートを開催いたしました。双葉幼稚園は創業者の萩原延一が棟梁を務めた縁があり、昨年には国の重要文化財指定を受けた歴史ある建物です。二代目園長・臼田梅氏は教育学者フレーベルと建築家フランク・ロイド・ライトの影響を受けて「ドーム型の屋根を持つ園舎にしたい」という想いから、素人ながら簡単な図を書いていたそうです。竣工年である大正11年は二代目社長・萩原一男が生まれた年でもあり当社の記念事業には相応しい場所での企画です。

当初100名の想定でしたがそれを超える130名の方々が足を運んでくださいました。出演は小森谷巧氏(ヴァイオリン・読売日本交響楽団コンサートマスター)、小杉芳之氏(ヴァイオリン・読売日本交響楽団)、横溝耕一氏(ヴィオラ・NHK交響楽団)、古川展生氏(チェロ・東京都交響楽団)という日本屈指の演奏家による弦楽四重奏です。素晴らしい演奏に加え、帯広随一の歴史的建造物の雰囲気も十分に楽しんで頂けたかと思っております。

創業100周年記念事業はまだまだ始まったばかりです。“当社の100年”を支えてくださいました地域の皆さまに喜んで頂くべく様々な企画を用意しております。ご注目ください!! (4月17日 萩原建設工業Facebookより)



萩原建設工業 Facebookページは毎週更新中!! こちらのQRコードより是非チェックしてみてください!!

Presented by 萩原建設工業株式会社

# TOKACHIALIVE

2018 SAT 8/25

帯広市 北愛国交流広場

TOKACHIALIVE 検索

【主催】萩原建設工業株式会社 【企画制作】株式会社マウントアライブ 【後援】帯広市・十勝観光連盟・帯広観光コンベンション協会